

旅路の春

【詞・曲】浦木 正志

山なみは霞んで
 旅路の春は
 一人旅の胸に
 あたたかい
 菜の花畑には
 道行く人が
 足を止めて笑う
 昼下がりに
 なくしたためか
 見つけるために
 なくした何かを
 探すために
 一人歩いた
 海岸線

山桜開いて
 旅路の春は
 土のにおいで
 あたたかい
 見知らぬ旅人を
 いたわるように
 話しからぬ
 やわらかさ
 なくした夢を
 見つけるまでは
 忘れたい夢を探す
 旅路の春

潮風に吹かれて
 旅路の春は
 懐かしい思い出
 連れてくる
 別れた人たちを
 忘れぬように
 愛する人たちは
 忘れぬように
 子供頃には
 戻れないけれど
 幸せな日々は
 遠いけれど
 今日も歩き続ける
 旅路の春

旅路の春

【詞・曲】浦木 正志

山なみは霞んで
 旅路の春は
 一人旅の胸に
 あたたかいは
 菜の花畑には
 道行く人が
 足を止めて笑う
 昼下がりに
 なくした何かを
 見つけたため
 なくした何かを
 探すために
 一人歩いてきた
 海岸線



旅路の春

【詞・曲】浦木 正志

山桜の開
 旅路の春
 土のにお
 あたにか
 見知らぬ
 いはたか
 話したる
 やわらか
 なしるた
 見つけま
 忘れまた
 探すま
 一人の歩
 旅路の春

旅路の春

【詞・曲】浦木 正志

潮風に吹かれて
旅路の春は
懐かしい思い出 連れてくる
別れた人たちを
忘れぬように
愛する人たちを
忘れぬように
子供の頃には
戻れないけれど
幸せな日々は 遠いけれど
今日も歩き続ける
旅路の春
今日も歩き続ける
旅路の春

End